



# かがやき

令和 7年 2月 6日 (木)

多摩市立連光寺小学校  
特別支援教室

かがやき学級 学級通信

NO. 16

「先生!4・7・9・12番です。」という声が聞こえてくる、かがやき教室

(4番→落ち着かない、7番→休みたい、9番→動きたい、12番→おなかすいた)

グループ指導内でのトラブル  
そこにある生ものの「学び」

自立活動の小集団指導では学年や個々の課題に応じた数名のグループ指導を行っていますが、今日は低学年グループでの指導エピソードを紹介します。このグループは、友達とのかかわりの「基礎」をテーマにした演習を組んでいます。小集団における「順番」「発言のタイミング」「聞き方」「待ち方」「友達との言い方・伝え方」「相手との合わせ方(力加減・言葉)」等、毎時間指導テーマを絞り、グループの中で演習を通して学んでいます。

今回の時間では、昔遊び「なべなべ(歌いながら手をつないでみんなで体を入れ替える遊び)」をしながら相手に合わせたり、自分の動きを認知したりする活動を行いました。最初は2人組で始めた「なべなべ」の演習でした。その中のAさんは、自分のやり方や進め方にこだわりのある児童です。「みんなと合わせて」「楽しく」という演習のキーワードに、なんとなく合わせる事が出来ずにいました。やがて4人でやってみようとなったとき、かたくなに「いや!」と拒否してしまいました。周囲の教師も声をかけて促していきますが、なかなかみんなできるとい状況になれません。



すると、残りの3人の子が「Aちゃん、一緒にやろう!」「やろうよ!」と声をかけてくれました。すでに手をつないで「なべなべ」を始める体制になっていた3人。その場の雰囲気もあってか、「もう、しょうがないなあ」という流れでAさんが輪の中に加わることができました。そして4人での「なべなべ」が成功しました。

大集団の中ではこうした個人の「引っ掛かり」の部分を待つことが、難しいときもあります。その分、小集団グループ指導でのちよとした「トラブル」は「生もの」として、学びのチャンスになります。自分の「引っ掛かり」にどう向き合うか、どう切り替えるか、また周囲の仲間はどう対応するといった等、その部分をしっかりと切り取って指導しています。グループ指導にはそのようなポイントがあります。

## かがやき保護者会のお知らせ

かがやき後期の保護者会を、3月4日(火) 3時30分より予定しております。低学年保護者会の後に実施予定です。ご参加いただけるかを、左記フォームよりご回答ください。

### かがやき後期の保護者会

3月4日(火) 3時30分

出欠連絡フォーム

※2月28日(金) 入力メ切

## 特別支援教室・「かがやき」は何を勉強しているの？

年度始めの啓発学習や学校公開の折に、「特別支援教室」についての紹介をしています。

ただ、学校全体となると「特別支援教室」への理解はまだまだな部分もあります。定期的に教室掃除に来ている5年生からも「かがやきってさあ、何を勉強しているの？」と最近質問されました。そこで再度、来年度高学年となる4・5年生を中心に啓発型の紹介授業を実施しました。内容としては概ね次の3点について伝えました。

① 人には誰しも得意、苦手の「凸凹」があり、その特性に気が付く人、気が付かない人もいる事。

② 何らかの「困り感」や「悩み」があるときに特別支援教室で「相談」しながら先生と一緒に、自分の状態を整理したり自分なりのやり方を見つけたりする事。

③ 「相談」の窓口は誰にでも開かれている事。

多様化している社会とは言え、多くの場面で「平均」を求められる社会でもあると思います。自分が自分らしく生きていくためのヒントを見つけ、そのために「相談」できる、そんな場所として認識してもらえたらなあと思います。

## かがやき専門員の小窓

### 援助要請・SOSカードについて

かがやきでは、子供たちに「報告・連絡・相談」を最初に指導しています。何か困った事があった際、自分で解決できれば良いですが、なかなか難しい場合もありますよね。そのような時に周りの先生に相談することができれば、一緒に解決方法を考えることが出来るのではと思います。

そうは言っても、なかなか自分の言葉で伝える事が難しい子供もいます。そのような場合、かがやきではSOSカードというものを利用する事があります。カードを提示し、困り感を周囲に伝え、手伝ってもらおうという経験を積みながら、「報告・連絡・相談」ができるようにスキルが積み重なっていくと良いなと考えています。

